

# 労福協 NEWS

2011.9 No.55

第1回

## 「親子サマーフェスタ」開催される

阿波踊りのぞめきも聞こえなくなり夏が遠退き始めた8月21日(日)、『「いのち」と『家族の絆』の再生に向けて』をテーマに、ヒューマンわーくぴあ徳島(労働福祉社会館別館)において「第1回親子サマーフェスタ」が開催されました。

徳島労福協の主催行事としては初めての取り組みであり、NPO法人杜生やフレッセ、NPO・ボランティア団体の協力のもと様々な子ども向けイベントが行われ、親子連れなど約250名が参加しました。



メイン会場では、開会式の後に“風船匠じよにいさん”が登場し、バルーン実演に子供たちから大きな喝采がありました。紙芝居、親子工作教室、フリーマーケットのほか、屋外では「徳島シャボン玉を飛ばす会」によるビッグシャボン玉が行われ、子どもたちは水浸しになりながら、夏の夕空に大きな大きなシャボン玉を浮かべました。



バルーン

### 《主な出演・出展団体》

バルーン  
紙芝居  
ビッグシャボン玉  
親子工作教室  
親子陶芸教室  
おもちゃ病院  
コーヒー・ジュース  
クッキーほか  
フリーマーケット  
//

風船匠じよにいさん  
紙芝居ボランティアおしゃべりくまさん  
徳島しゃぼん玉を飛ばす会  
全徳島建設労働組合フレッセ  
だいやま陶芸村  
おもちゃ病院徳島支部準備会の皆さま  
ボランティア友の会ひまわり  
NPO法人Creer  
NPO法人きのこハウス  
リサイクルショップ a・ya      ほか

### わたしの夏休み作品 大募集!!

【テーマ】

- ①夏休みの楽しかったできごと
- ②東日本大震災に思うこと

【応募作品】 ①絵画の部 ②作文の部

【応募対象】 幼児、小学生、中学生

【応募締切】 2011年9月30日(金)

優秀者を表彰し、作品を出展します。  
応募者のうち先着50名様に図書カードをプレゼント!!

\*送付先・お問合わせは下記事務局まで

労福協

平成23年度 県内在住外国人の就労支援日本語講座

「就職のための日本語講座」3年目の取り組み

と き 2011年5月17日～7月11日 月～金曜日 9:30～12:30 総学習時間 120 時間
と ころ ヒューマンわーくぴあ徳島 (徳島市昭和町3丁目35-2)
受 講 生 7名 (中国1名、フィリピン5名、マレーシア1名)
主 催 社団法人徳島県労働者福祉協議会 協 力 JTMとくしま日本語ネットワーク



本講座では職場で通用する日本語の習得はもとより、お辞儀の仕方や名刺交換、接客等、ビジネスマナーの習得も目標としています。

例年少なからずレベル差がありますが、画像やレリア(実物)を多用して理解を促すことや動作とともに発話する練習を多く取り入れること、初級文法の復習を随時取り入れ、共通の誤用が見られる文法項目のワンポイントレッスンを授業のあとに行ったりするなどの工夫により対応しています。今年度はさらに音声指導も重点的に取り入れました。また、書きことばの習得とスタッフとのコミュニケーションを目的とした交換日記「あゆみ」のやりとりも昨年同様に進めました。

中間期には個人面談を行い、講座の感想や要望、日本語習得の自己分析、今後の目標等を聞き取りました。面談後には久積労福協会長との懇談会を

実施しました。受講生からは日本語習得の必要性、就職への希望、母国での資格やスキルの活用、自国の紹介をしたり交流をしたりする機会の要望等の声があがりました。

講座期間中、同館で開講中のホームヘルパー養成講座を修了した昨年度の受講生が、ジョブとくしまの支援により介護施設に就職を果たすという嬉しいニュースもありました。

「ここ来ると、みんなと家族みたいに楽しく勉強できて時間が経つのが早い」と話してくれた受講生のことは、外国の人たちにとってこの講座が日本語習得の場としてだけではなく仲間や地域社会とのつながりを実感できる居場所になっているのだと教えてくれます。

講座終了後には、受講生が心づくしの謝恩会を開いてくれました。テーブルいっぱいに並んだお国自慢の料理をいただきながら、受講生の目標が達成できるよう、これからも労福協ジョブサポートネットワークとの連携により全力で応援していきたいという思いを強くしました。

ホームヘルパーによる被災者支援活動に参加して

全国ホームヘルパー協議会より被災地ボランティアの募集があり、4月4日から8日にかけて岩手県山田町の山田高校体育館避難所に高齢者介護支援のボランティアとして参加しました(ボランティア休暇を利用)。

避難所では要支援から要介護1程度の高齢者と障害者(視覚1名、精神1名)の方の排泄・配膳・整容などの介助を受け持ちました。介助で困ったことはトイレへの誘導と入浴でした。学校のつくりが高齢者対応となっていないため車椅子での誘導が難しく(トイレは校舎にある)、また自衛隊が用意した簡易浴槽は高さがあり高齢者にはやはり不向きでした。

4月7日23時30分頃、震度6の地震がありました。余震も長く、見廻りに行くと「津波を思い出し怖い」と涙を見せる方や声かけの際に手を握り返す方がいました。

4月8日避難所を後にして帰路に着きました。

東北の復興を見つめ、町が元気になったら、もう一度訪れたいと思いました。



後日、現地から届いた手紙

徳島労福協 なのはなヘルパーステーション 下田 芳美

## 連 合

## 自然を満喫した「連合の森」親子サマーキャンプ 50本の苗木（コナラ）も植林

地球にやさしいエコ・ユニオンをめざす連合徳島は、7月30日(土)～31日(日)の2日間、美馬市木屋平の中尾山・平成荘で、「連合の森・親子サマーキャンプ」を開き、102人(大人71人・子ども31人)が参加しました。

開会オリエンテーリングは体育館で行われ、主催者を代表して連合徳島・藤岡副会長のあいさつと、徳島森林管理署・三谷署長からあいさつを受けました。

その後、昼のイベントとして、写真ボードを作成する「木工教室」と2011年は国際森林年という



▲木工教室では写真ボードを作成

「遊歩道ウォーキング」を同時並行で行いました。

「木工教室」は子どもを中心に参加し、まず最初に徳島森林管理署の職員から森林についてプロジェクターを使った説明を受けた後、杉の間伐材にどんぐりや木の枝、石などをボンドで付けたり、自分の名前や絵を描いたり親子で熱中し、それぞれオリジナルの写真ボードを完成させました。

「遊歩道ウォーキング」では山道に悪戦苦闘しながらも、貞光川の源流を観察したりと自然を満喫しました。

17時からの夕食バーベキューは8班に分かれて炭を熾し、昼間に心地よい汗をかいたこともあり、子どもたちの食欲も旺盛で肉・野菜・ソーセージ・おにぎり・スイカ等を食べて、大人たちもアルコールを飲みながら交流を深めました。

2日目は朝食後に2006年に美馬市の協力のも

とできた「連合の森」へ車で移動。植林の仕方についてレクチャーを受けた後、これまで植林してきた木の



成長を確認し、防護ネットの修繕を行いました。

その後、徳島森林管理署、県林務職員(県職労)の指導のもと、家族・グループ毎に50本の苗木(コナラ)を植林するとともに、鹿対策の防護ネットも取り付け、大きく成長することを願って名札を埋め込みました。

2日間とも好天に恵まれ、徳島森林管理署をはじめ林野労組、県林務職員(県職労)をはじめ、多くの参加者と地元美馬市の協力をいただき、標高1,050メートルのすばらしい環境のもとけが人もなく親子サマーキャンプを無事終了することができました。

最後に、今回の親子サマーキャンプの運営にかかわり、ご協力をいただきました各構成組織・団体、また運営資金としてカンパ金等をいただいた団体の皆様方に心より感謝を申し上げます。



▲102人が参加した親子サマーキャンプ

## ろうきん

## 四国労働金庫 第11回通常総会報告

第11回四国労働金庫通常総会を、6月24日、高松市の「ホテルパールガーデン(旧ウェルシテイ高松厚生年金会館)」において、開催いたしました。

今総会において、「2011年度事業計画設定承認の件」をはじめ、4つの議案全てが承認されました。全国合併は延期になりましたが、2011年度事業計画では、次世代システムの稼働を最優先課題と位置づけ、当面は四国ろうきんとしての自立経営力を高め、より強固な経営基盤の確立を目指すことを確認しました。

なお、今総会では理事・監事の改選期にあたり、任期満了に伴う役員改選を行い、23名の理事と5名の監事を選出後、直ちに理事会を開催し、足達秀夫理事長を再任し、2名の新任常勤理事

の選出を含め、2011年度の役員体制を決定いたしました。

また、2010年度のろうきん運動において、顕著な業績をあげられた39会員の表彰を行い、足達理事長より表彰状と記念品を贈呈いたしました。



第11回通常総会

## 【徳島地区選出理事・監事】

役職名	氏名	所属団体
常務理事	藤原 学	全水道德島水道労働組合
理事	藤岡 一雄	自治労徳島県本部
理事	峰行 一夫	J P 労働組合四国地方本部徳島連絡協議会
理事	寺西 稔	情報労連徳島県協議会
監事	山下 吉生	UIゼンセン同盟徳島県支部

## 【徳島地区表彰会員】

営業店名	会員名	営業店名	会員名
徳島支店	徳島県職員労働組合	池田支店	三好消防職員協議会
徳島支店	全水道德島水道労働組合	徳島北支店	三洋電機労働組合兵庫徳島支部徳島地区支部
徳島支店	日本赤十字労働組合徳島支部	阿南支店	阿南市職員労働組合連合会
池田支店	三好市職員労働組合連合会	鴨島支店	パナソニックヘルスケア労働組合協町支部

## 全 労 済 徳島県共済生活協同組合 第56回 通常総代会開催報告

去る2011年7月29日(金)に徳島県共済生活共同組合第56回通常総代会ならびに全労済徳島県本部第2回県本部代表者会議を開催いたしました。

### 1. 2010年度(2010年6月1日～2011年5月31日)の徳島県本部の事業報告

2010年度は、「中期経営政策」にもとづく後半年度にあたり、全労済の理念「みんなで助け合い、豊かで安心できる社会づくり」をスローガンに、役職員一体となって様々な取組みを進めてきました。

### 2. 2011年度(2011年6月1日～2012年5月31日)の徳島県本部の活動計画について

2011年度は「中期経営政策」を達成するための中間の2年間の前半の年度となります。2010年度の活動を検証し、以下の5つの課題達成に向けて、役職員一体となった活動を展開していきます。

- ①「東日本大震災」の被災者対応を最優先課題とし、そのうえで、さらなる経営基盤の確立のために、目標達成に向けて努力していきます。
- ②「組合員の声」をもとに業務改善を進め、「業務品質」とサービスの向上に努め、組合員のニーズと期待に応える事業推進活動を展開して行きます。
- ③生協法に沿った組織運営、事業、経営のあらゆる面においてコンプライアンス、ガバナンスを重視し、生活協同組合の価値の向上をめざした事

業と運動を作りあげていきます。

- ④「財務基盤強化基本計画」に沿って、事業費削減等の課題を積極的に取り組んで行きます。
- ⑤「2012年・国際協同組合同年」は、県民に広く「協同組合の価値」を訴求する絶好の機会と捉え、価値の向上に向けた取り組みのと、県内協同組合組織との連携を強化していきます。



▼2011年全労済地域貢献助成事業の子ども分野において、紙芝居ボランティア『おしゃべりくまさん』が選定され、記念品と目録の贈呈を行いました。



### 〈2011年度 県本部経営委員会 役員体制〉

役職名	氏名	所属団体	役職名	氏名	所属団体
県本部長	川越 敏良	全労済徳島県本部	経営委員	森本 佳広	徳島県職員連合労働組合
副本部長	河村 和男	パナソニックヘルスケア労働組合	経営委員	米里 正行	徳島市役所職員労働組合
副本部長	高根 研治	日清紡績労働組合	経営委員	住友 勝次	阿波市職員労働組合
執行役員	渡邊 一雅	全労済徳島県本部	経営委員	野町 孝英	西部地区(徳公教組)
経営委員	新居 良雄	フレッッセ	経営委員	品川 勝利	北部地区(ジェイテクト労組)
経営委員	今田 恵津子	全国一般徳島地方労働組合	経営委員	柊 保博	県央地区(市交通労組)
経営委員	平井 敏郎	徳島通運労働組合	経営委員	濱口 賢一	県南地区(日本電工労組)
経営委員	浦本 健治	徳島バス労働組合	経営委員	五所尾 久美子	自治労共済県支部
経営委員	近藤 久善	徳島県高等学校教職員組合	業務検査委員長	吉田 良一	四国電力労働組合
経営委員	坂本 和生	徳島県教職員団体連合会	業務検査委員	宮本 武司	四国高速運輸労働組合
経営委員	森岡 茂	四国化成徳島労働組合	業務検査委員	徳永 佳紀	自治労徳島県本部
経営委員	松永 勉	東邦テナックス労働組合			

勤労者福祉ネットワーク

出会い・助け合い・ささえあい

『あい♥あいフェスティバル 2011』開催

100%  
勇気・挑戦

徳島県勤労者福祉ネットワークの事業の紹介と子育て応援を中心として、すべての県民が豊かさを実現できるゆとりあるライフスタイルの定着を促進し、出会い・助け合い・ささえあいをスローガンに「あい♥あいフェスティバル 2011」を開催します。

日時

2011年11月13日(日曜日)  
11時~15時

場所

アスティとくしま  
多目的ホール・多目的広場(屋外)  
[徳島県徳島市山城町東浜傍示1]

主催

(財)徳島県勤労者福祉ネットワーク



行 事 予 定

■ステージ部

- ☆ 忍たま乱太郎ショー
- ☆ お餅投げ
- ☆ バトントワリングショー
- ☆ フォークデュオ「ヒルストーン」ライブ
- ☆ ゆるキャラショー
- ☆ 阿波おどり体操 など

■ホール内・多目的広場

- ★ 飲食物販売コーナー
- ★ 県産野菜等直売コーナー
- ★ 風船ジョニーさん など

■ブース部

- ★ 盲導犬ふれあいコーナー
- ★ 体力測定コーナー
- ★ カラー診断コーナー
- ★ ぬり絵・ぬり絵展示コーナー
- ★ プラバン作りコーナー
- ★ しゅろの葉「バッタ作り」コーナー
- ★ ストラックアウト
- ★ チャリティバザーコーナー など

チャリティバザー収益全額と出店等収益の一部を東日本大震災義援金とします

中小企業サポート事業

お気軽にお問合せください  
 (独)勤労者退職金共済機構  
 中小企業退職金共済事業本部  
 ☎(03)3344-3600-51(代)  
 FAX(03)3344-3600

- 新規加入や掛金月額を増額する場合、掛金の一部を国が助成します。
- 掛金は全額非課税で、手数料もかかりません。
- **外部積立型だから管理が簡単!**
- 従業員ごとの納付状況や退職金試算額を事業主にお知らせします。
- **パートさんもご加入いただけます**
- **適格退職年金制度からの移行先です。**

ご存じですか?  
 「中退共」の  
 退職金制度  
 なら、掛金  
 に国の助成  
 が受けられ  
 ます。

詳しくはホームページをご覧ください

## わーくぴあ徳島

## 熱き想いを東北へ

～桂七福・東日本大震災復興祈念  
チャリティ落語会～

7月23日(土)にヒューマンわーくぴあ徳島において「桂七福チャリティ落語会」が開催された。徳島市在住の落語家、桂七福さんが落語会を開催して東日本大震災の義援金を募る取り組みを始めたことを徳島新聞紙上で呼びかけたものであり、NPO法人壮生が事務局となって行われ、約60名が来場しました。



桂七福さんは「東日本大震災後、落語を楽しむこと、笑うことが不謹慎というようなムードや自粛が広がりました。しかし今は『元気なところは元気で、みんなが下を向いてはいけない』という言葉が広がっている。落語会でみなさんの笑顔をまずは義援金へと形を変えて、立ち上がろうとしている方々への支えに繋がりたい」と募金を呼びかけた後、東北仙台を舞台にした古典落語「ねずみ屋」をたっぷり時間をかけて披露しました。来場者は熱心に耳を傾けて人情噺に聞き入っていました。

桂七福さんは「東日本大震災後、落語を楽しむこと、笑うことが不謹慎というようなムードや自粛が広がりました。しかし今は『元気なところは元気で、みんなが下を向いてはいけない』という言葉が広がっている。落語会でみなさんの笑顔をまずは義援金へと形を変えて、立ち上がろうとしている方々への支えに繋がりたい」と募金を呼びかけた後、東北仙台を舞台にした古典落語「ねずみ屋」をたっぷり時間をかけて披露しました。来場者は熱心に耳を傾けて人情噺に聞き入っていました。

## コミュニティビジネスフォーラム開催

主催 徳島労福協

8月6日(土)、ヒューマンわーくぴあ徳島5階大ホールにて「コミュニティビジネスフォーラム」が開催された。このフォーラムは地域の活性化とコミュニティビジネスの普及啓発・起業促進を図り、社会的認知度を上げることを目的としたコミュニティビジネス普及啓発促進事業(徳島市委託)の一環として行われたもので、関係者、一般参加者あわせて82名の参加があった。主催者挨拶の後、徳島市経済部経済政策課の松平芳典課長より来賓の挨拶を頂いた。

第一部は、長野県労福協の青木正照専務理事と長野県で実際に活躍しているNPO法人「ホットラインながの」の井出光人事務局長を講師として招き、「ふれあい・支えあい・コミュニティビジネスのすすめ」というテーマでそれぞれから講演を頂いた。

第二部では、NPOからのメッセージ「コミュニティビジネスの現状と未来像・私の夢」というテーマで各団体の代表の方から発表があった。フォーラム終了後には「またこういった場をつくって欲しい」等の感想をいただき、コミュニティビジネスへの関心の高さが窺えた。



## エコキャップ推進運動 —中間報告—

累計 132,816個  
(ワケチン166.0人分) 回収期間: 2009.12.25～2011.06.13

徳島労福協では、加盟団体をはじめとする多くの方のご協力により、これまでに132,816個のキャップを回収し、エコキャップ推進協会へ発送いたしました。

引き続きご協力をよろしく  
お願いいたします。



## 育児日記

◎泉妃ちゃん(1歳3ヶ月)が8月に入って2回、39度超の発熱をしました。突発性発疹もできて、とても痛々しかったです。(;>\_<)。

◎泉澄ちゃん(3歳4ヶ月)はあいかわらず元気もりもりです。芦田愛菜ちゃんを目指しているそうです。フラフープが得意で、フープが地面に落ちて2秒くらい経ってから腰を回します。(ふ)





### ZENROSAI NEWS

## 社会貢献付 火災共済

エコ住宅専用

風水害等給付金付火災共済

## エコ住宅専用の保障プランができました。

地球環境にやさしいエコ住宅に住みながら、住まいの保障でも環境に貢献する。そんな保障プランが社会貢献付エコ住宅専用火災共済です。これまでの火災共済と同じ保障内容で掛金は割引に。さらに毎年の決算状況に応じて掛金の一部を全労済から環境活動団体へ寄付します。全労済はこれからも、環境活動への貢献を側面から支援していきます。

お問い合わせ

**全労済**  
**徳島県本部**  
(徳島県共済生活協同組合)

〒770-0942  
徳島市昭和町3-35-1  
労働福祉会館1F  
☎088-625-2340  
営業時間/9:00~17:00  
(土曜・日曜・祝日を除く)

#### ●掛金 (年払いのみとなります)

住宅構造	木造・モルタル等	鉄筋コンクリート
1口あたりの年掛金	68円	39円

※住宅・家財とも同じ掛金です。



#### ●加入できる住宅 (下記のエコ設備を設置し使用している住宅)

**オール電化住宅の電気設備\***  
(給湯・厨房・空調設備といった家庭内の熱源をすべて電気でまかなう住宅)

**自然冷媒ヒートポンプ式電気給湯器**  
(例 エコキュート)

**太陽光発電システム**

**ガスコージェネレーションシステム**  
(例 エコウィル)

**潜熱回収型給湯器**  
(例 エコジョーズ)

#### ●最高保障額

通常の火災共済と同じ口数となります。

住宅:4,000万円(400口)  
家財:2,000万円(200口)

■加入申込みに際しては、共済掛金の一部を全労済が選定する環境活動団体に寄付する旨についての同意が必要となります。

※オール電化住宅としての電気料金の割引適用等で確認することもできます。  
注)上記設備に該当するのかが不明な場合は、全労済までお問い合わせください。

### 助け合いから生まれた保障の生協です。

全労済は、営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金をお支払いいただいで組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

保障のことなら

**全労済**

全国労働者共済生活協同組合連合会

発行 社団法人 **徳島県労働者福祉協議会**

徳島市昭和町3丁目35-1 (わーくぴあ徳島内)  
TEL (088) 625-8387・FAX (088) 625-5113  
URL <http://tokushima.rofuku.net/>  
e-mail [tokushima@rofuku.net](mailto:tokushima@rofuku.net)

編集・発行人 久積育郎  
印刷者 (有)フォトプリント白石